

# 名古屋学院大学

## 2026 年度一般選抜 出題の意図

試験区分	一般入試（前期）
試験日	1月31日
科目	国語

I は現代文の論理的文章の問題として、小坂井敏晶の文章を題材としました。「偶然」を許容できず「必然」を求める人間の性質から「真理」論・「歴史」論へと展開するなかで、政治、文学、確率、制度、数学と多様な話題をからませながら論じる文章から、「偶然」「必然」「真理」「歴史」といった論点について筆者の主張を適切に理解し、読み取ることができるかを中心に問うています。漢字や慣用表現の基本的知識を問う問題も取り入れました。

II は、大澤真幸氏の『生成 AI 時代の言語論』を題材に、生成 AI の普及が人間の言語経験や思考のあり方にどのような変容をもたらすかを論じた文章を読解するものです。筆者は、人間が中動的言語体験を通じて真に思い考えていることを表現できたときに、なぜ強烈な喜びを感じ、なぜ生成 AI ではその喜びを感じられないかについて解明しています。本文は、大学での学びに必要な、批判的かつ多角的な思考力を測るための良質な題材として採用しました。設問では、筆者の鍵概念となる中動態の意味や内容を正確に読み解く力、他者の種類を識別する力、「思考の言語化」を論理的に説明できるかを問いました。表面的な字面を追うのではなく、筆者の思考の軌跡を論理的に追体験できる読解力を測ることを意図しています。